令和元年度　薬学部卒業生へのアンケート調査結果について

１．背景

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成 30 年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって 3 つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

令和元年 9 月 10 日に開催された教学運営会議にて、教育成果の可視化、活用および情報の公開について一層の充実を図ることが承認され、指標の一つである卒業時・卒業後アンケート結果を実施・公開することとなった。ここでは、その内卒業後 5 年を経過した平成 26 年度卒業生に対して行ったアンケート結果について報告する。

２．概要

調査対象　平成 26 年度薬学部卒業生（卒後 5 年目）（調査対象数：109 人）

調査期間　令和元年 9 月 13 日（金）～9 月 30 日（月）

実施方法　インターネットを利用した Web アンケート

質問内容　①氏名、性別、年齢、お住まいの地方
②現在の状況
③勤務状況
④学位授与方針に対する卒業時の自己評価
⑤岩手医科大学のカリキュラムに対する満足度
⑥岩手医科大学での学びの地域医療への貢献度
⑦岩手医科大学への満足度
⑧その他

３．結果

回収率　6.4%（7 人/109 人）

Q１．性別
男 5 人／女 2 人

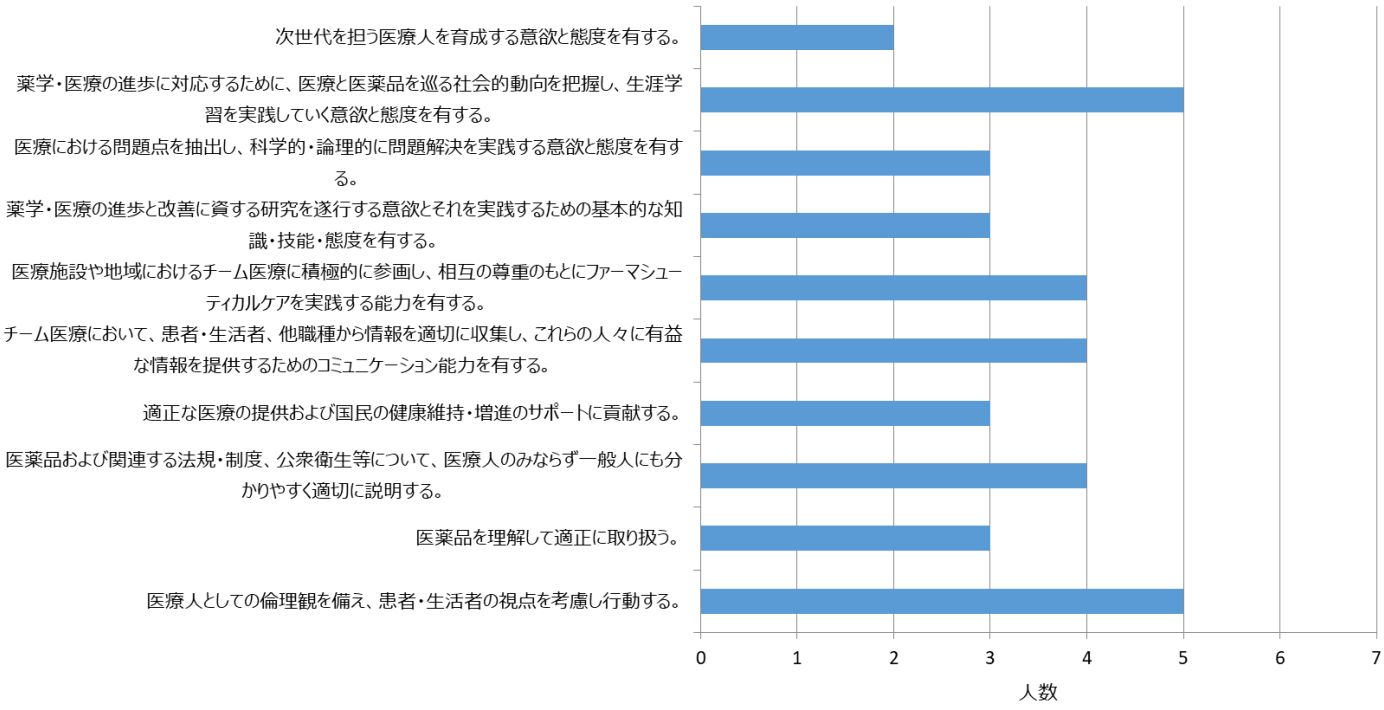
Q２．年齢
20 代 4 人／30 代 3 人

Q３．お住まいの地方
東北地方 6 人、中部地方 1 人

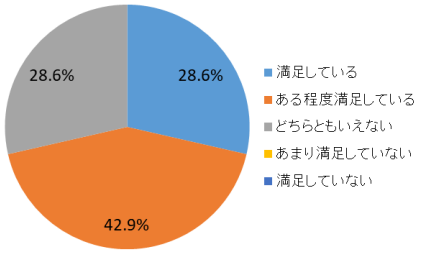
Q４．現在の状況
薬剤師として働いている 7 人

Q５．勤務状況についてお尋ねします。該当するものを選択してください。
公的医療機関 3 人／企業 2 人／医療法人 1 人／個人 1 人

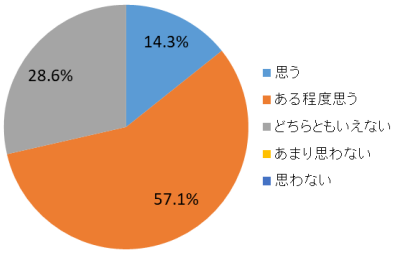
Q６．本学では卒業時の学修成果を定めており、学生が卒業時に以下の項目を達成できるように教育を行っています。あなたが岩手医科大学で学んだことで、下記学修成果のうち、卒業時に達成できたと思うものはどれですか。当てはまるものをすべて選択してください。



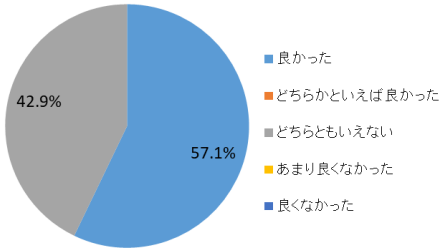
Q７．岩手医科大学で学んだカリキュラムには満足していますか。



Q８．岩手医科大学で学んだことは地域医療への貢献に寄与していると思いますか。



Q９．岩手医科大学を卒業してよかったですか。



Ｑ１０．その他、大学へのご意見をご記入ください。

・実習生のコミニュケーション能力に欠けると感じることが多い。学力も確かに大切なことだと思うが、コミニュケーション能力を養う時間や医療倫理について学ぶ時間を設けてもいいと思う。

・岩手県出身の本学卒業した薬剤師に対する就職サポート

・学習内容に関しては問題ないが、それ以前に人間性を疑う生徒を入学させることに疑問がある。

４．総評

回収率が低いため、正確な傾向把握は難しい。得られた回答を見ると、6 人の回答者全員が現在も薬剤師として勤務している。学位授与方針の中では、「患者等の視点に立った行動」「医薬品の取り扱い」「医薬品および関連する法規等の説明」など現場で生かされる実践的な資質に対する達成感が見られた。一方、「次世代の医療人の育成」「問題解決を実践する意欲」「研究を遂行するための意欲・知識」「ファーマシューティカルケア能力」といった資質に対する達成感は比較的低く、これは就職先の企業等に行ったアンケート結果と重なる。

本学カリキュラムに対する満足度、地域医療への貢献度については、ポジティブな意見が多い。卒業してよかったと回答した学生も 6 割を超えている。